

地方創生へのスタート



旭市長

明智忠直

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかで希望に満ちた年の始まりをお過ごしのことと思います。昨年から世界の動き、国の動き、地方の動きに、今年はどんな年になるのだろうかと思いを巡らせている人も多いのではないのでしょうか。

国内外の情勢が目まぐるしく変化中、山積した課題が地方へも大きく影響を与えようとしています。旭市のこれからをどう捉え、進めていくか……。地方のやる気、アイデアを結集した「旭市総合戦略」を策定し、実行していかなければなりません。計画策定に当たり「産官学金

労言」の各代表に参加していただき、間もなく完成する予定です。併せて、安全で安心なまちづくりのための「国土強靱化地域計画」や行政改革を進めるための「第三次行政改革アクションプラン」「公共施設等総合管理計画」、さらに教育に関する「旭市教育大綱」をこれからのまちづくりの指針として推し進めていきたいと思っております。

昨年は、合併10周年の節目の年を迎えました。旧一市三町が、それぞれの地域の歴史と伝統のある中、祭りやスポーツ、文化事業などを多く実施してきたことで、一体感の構築につながりました。復興事業も順調に進捗し、確実に市政が進展しているものと実感するところです。

10月には待望の道の駅「季菜里あさひ」がオープン。東総地域では初となるこの道の駅は、産業の振興、交流の場、観光の拠点、さらには防災の拠点として、地域に誇れるものとなりました。オープン以来、運営も順調に推移しており、今後も旭市自慢の農畜水産物や特産品を多くの皆さんに堪能いただき、繰り返し足

を運んでもらいたいと思っております。

12月には飯岡中学校の竣工を迎えました。東日本大震災の大津波により、床上まで浸水してしまった同校は、津波の心配が少なく、海岸から約1kmの場所によりやく移転することができました。地区の皆さんにも復興と安全・安心を感じ取っていただけているものと考えております。

そんな昨年を検証しながら、今年の市政運営を思うとき、大きな三つの柱を中心に事業を進めていきたいと考えております。

一つ目は人口減少対策です。今後確実に進むであろう人口減少に、指をくわえたまま従うことはできません。子育て支援、雇用の創出と確保、Uターン、Iターンを促す環境づくりなどは、大きな施策として取り組んでいきたいと考えております。

二つ目は適正な公共施設などの統廃合、合理化の促進です。そのために、第三次行政改革アクションプランや公共施設等総合管理計画により、その方向性を示しているところです。このことは、市民の皆さんにも共通

の問題として理解していただけるよう努力してまいります。

三つ目は産業振興です。県下有数の農業、水産業をはじめ、バランスよく発展する商工業。産業における旭市のポテンシャルは、非常に高いと思っております。観光名所としても九十九里浜や刑部岬、千潟八万石の田園、大原幽学遺跡史跡公園、そして道の駅など。これらを巡る観光ルートの開発やグリーンツーリズム、ブルーツーリズムなどの滞在型交流事業の創出などは、今後の旭市にとって大きな資産になり得るものと確信をしております。

地方創生へのスタートの年。着実に歩みを進めながら皆さんと共に豊かさ、幸せを感じられる一年にしたいと思っております。



健やかで安心して住めるまちづくり 活気ある旭市を目指して



旭市議会議長

平野 忠作

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、
輝かしい新春を健やかにお迎えのこ
とと、心からお喜び申し上げます。

私は、昨年の12月議会におきまし
て、議員各位のご推挙により第11代
議長に就任致しました。

当市議会は、議会を通して市政に
直結する諸問題を真摯に議論してま
いりました。また議会運営に関しま
しても市の将来を見据え、さまざま
な議会改革を進めております。その
一つとして、議員定数の削減につい
て検討を重ねてまいりましたが、現

在の22人から20人に削減することと
し、12月の議会で定数の改正を致し
ました。これにより、平成29年の改
選の選挙から適用となります。定数
が削減となりましても広く市民の皆
さまの声を聴き、効率の良い議会運
営に努めてまいる所存です。

さて現在の経済情勢は、経済財政
白書にも示されているとおり、平成
25年春以降の緩やかな消費者物価の
上昇などで、デフレではない状況と
の認識が示されています。そして、
個人消費を中心とした内需主導で経
済が回復してきたと評価しています。
しかし、昨年10月のTPP（環太平
洋パートナーシップ協定）の合意に
より、その影響が危惧される場所
です。このような経済情勢の中、農
業産出額が県内トップクラスで旭市
の基幹産業である農業がより発展す
るよう努めるとともに、商業、工業
の活性化、観光資源の開発や充実に
努め、地域経済の振興を図ることは
大変大事なことを考えます。限られ
た予算の中で何をすべきか、何がで

きるのか、皆さんと共に考え、旭市
の発展に努めてまいります。

昨年10月にオープンしました道の
駅「季楽里あさひ」には、連日、多
くの皆さまがお越しいただいている
ところです。より充実した運営が図
られ、地域経済振興の一助となるよ
う、市民の皆さまにも暖かい応援を
お願い致します。

旭市が全国に誇るものとして、旭
中央病院があります。病院が安定し
て運営されることは、地域医療の充
実が図られるとともに、地域経済の
活性化にもつながるものと考えます。
一方、昨今の医療を取り巻く環境か
ら、より柔軟で円滑な運営が求めら
れております。このため、旭中央病
院の在り方について、議会では重ね
て議論をしてまいりました。現在は、
地方独立行政法人に移行する準備が
進められているところですが、充実
した地域医療の確立が図られること
を議会として願うものです。

少子高齢化への対応や、地域活性
化のためのインフラ整備などを進め

ていくに当たり、議会において活発
な議論を交わし、住民福祉の増進と
地域の発展を念頭に、より良いまち
づくりを推進してまいります。

新春に臨み、市民の皆さまのご支
援、ご協力をお願い申し上げますと
ともに、本年が皆さまにとりまして
幸せで実り多く、大いなる飛躍の年
となりますことを心よりお祈りし、
新年のごあいさつと致します。

